

平成28年9月15日

協議員会 会長挨拶

協議員会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より全建の事業活動に深いご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。また、本日は、何かとお忙しいところを協議員会にご出席をいただきまして、重ねて御礼申し上げます。

まず、先月中旬以降、相次ぐ台風の上陸により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。台風が8月中に4個上陸するのは54年ぶり、北海道に3つの台風が上陸するのも過去最多。台風が東北の太平洋側に上陸するのは、観測史上初めてと、異例づくめとなり、北海道、東北では、特に甚大な被害となりました。現地で災害対応に当たっておられる建設業協会や会員企業の皆様の、地域の安全・安心の守り手としての懸命な活動に敬意を表しますとともに、どうぞ安全第一で作業に当たっていただきます様よろしくお願い致します。

さて、いよいよ10月6日から、関東甲信越ブロックを皮切りに、全国9ブロックにおいて、平成28年度地域懇談会並びにブロック会議が開催されます。

昨年は、「公共事業予算の安定的・持続的な確保」や「改正品確法・運用指針の地方公共団体への周知・徹底」、「地域建設業の受注機会の確保と入札制度改革」などが大きなテーマとなり、各ブロックにおいて活発な議論が展開されました。

今年度は、地域建設業が将来に亘って、その役割を果たしていくためには何が必要かを巡って、国土交通省に生の声を届け、本音で議論をして参りたいと考えております。どうぞ各都道府県協会におかれましては、各地域で抱える諸課題について、忌憚のないご意見を積極的に発信していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、例年ですと、本日の協議員会終了後、増上寺におきまして、慰霊法要を執り行っておりましたが、今年は都合により日を改め、9月20日に、私が代表して事務局役職員を帯同し、土木建築殉職者慰霊塔の前で、御^{みたま}霊のご平安と工事の安全を祈願させていただくこととしております。本年は、建設事業遂行のため不幸にも不慮の災禍に遭われ、殉ぜられた尊き50柱^{はしら}の御^{みたま}霊を新たに慰霊させていただくことになりました。これにより、昭和12年に全建が土木建築殉職者慰霊塔を建立して以来、62,823柱^{はしら}を合^{ごうし}祀することとなりますが、これを機会に、改めてご出席の皆様とともに労働災害防止への決意を新たにしたいと思っております。

結びになりますが、本日ご出席の皆様方のご健勝と各都道府県協会並びに会員企業の皆様の益々のご隆盛・ご発展を祈念致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

以 上